

ラ・クーン種羊は、

混血種が大半のフランス産ウールの中では非常に珍しく純血を保存しているウールです。ラ・クーン種羊は、フランス南部地方の山岳地形で、朝夕の冷え込みが厳しい環境下で育てられます。

又、世界三大ブルーチーズの1つといわれる「ロックフォール」というチーズは、このラ・クーン種羊のミルクからつくられます。ラ・クーン種羊保存協会（UPRA）は、このチーズの味を保つため、より純血な血統のみを大切に飼っているのです。従って、ウールの品質も安定しています。

ラ・クーンウールの特徴は、

羊毛のステープル（繊維の長さ）が短く、1本1本の繊維のクランプが非常に強いのが特徴です。敷きふとん用中わたとして重要な弾力を与えてくれます。ただし、1頭当たりの産毛量は洗い上がりで0.5kgと非常に少なく大変貴重な羊毛です。